



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月3日

上場取引所 東 名 札

上場会社名 株式会社スズケン

コード番号 9987 URL <http://www.suzuken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 太田 裕史

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 鷲見 守

TEL 052-961-2331

四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	462,028	3.7	△1,364	—	3,047	40.9	1,636	25.9
24年3月期第1四半期	445,612	4.2	△1,843	—	2,163	△67.3	1,300	△67.5

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 803百万円 (△46.5%) 24年3月期第1四半期 1,499百万円 (△51.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	18.16	—
24年3月期第1四半期	14.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	964,467	288,248	29.9
24年3月期	972,076	289,759	29.8

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 287,985百万円 24年3月期 289,507百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	932,400	2.9	△500	—	7,400	3.7	4,000	22.0	44.37
通期	1,914,000	2.9	12,000	58.8	27,800	20.2	16,000	98.7	177.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 有
- ④ 修正再表示 ： 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、株式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料4ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期1Q	93,949,167 株	24年3月期	93,949,167 株
25年3月期1Q	3,803,976 株	24年3月期	3,803,650 株
25年3月期1Q	90,145,368 株	24年3月期1Q	90,151,726 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景として緩やかに回復しつつあるものの、欧州の信用不安や円高の長期化などにより、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

医療用医薬品市場におきましては、平成24年4月に実施された薬価基準の引下げ（長期収載品の追加引下げを含む平均 6.25%）の影響があるものの、高齢化の進展に伴う生活習慣病関連薬剤や新薬等の寄与により、緩やかながら伸長したものと推測しております。しかしながら、お得意さまニーズの多様化・高度化への対応など、医薬品卸を取り巻く経営環境は厳しい状況にあります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は4,620億28百万円（前年同期比3.7%増）、営業損失は13億64百万円（前年同期は18億43百万円の営業損失）、経常利益は30億47百万円（前年同期比40.9%増）、四半期純利益は16億36百万円（前年同期比25.9%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

（単位：百万円未満切捨）

セグメントの名称		平成24年3月期 第1四半期累計期間	平成25年3月期 第1四半期累計期間	増減率（%）
医薬品卸売事業	売上高	424,474	439,969	3.7
	営業損失(△)	△4,415	△2,303	—
医薬品製造事業	売上高	15,748	16,748	6.4
	営業利益	1,061	295	△72.2
保険薬局事業	売上高	18,558	18,864	1.7
	営業利益	1,034	556	△46.2
医療関連サービス等事業	売上高	5,401	5,943	10.0
	営業利益	218	82	△62.2

（注）セグメントの売上高にはセグメント間の内部売上高を含んでおります。

(医薬品卸売事業)

「医療用医薬品の流通改善に関する懇談会」による「緊急提言」を受け、引続き業界をあげて流通改善に取り組んでおります。日本医薬品卸業連合会は、流通改善を実現するために、契約条件の事前明示と覚書締結による確認、単品単価取引の励行の推進等を声明として発表しております。

当社グループにおきましても、日本医薬品卸業連合会の取組方針に基づき、個々のお得意さまごとに単品単価取引を原則とし、個々の医療用医薬品の価値に見合った価格交渉に努めております。

また、多様化・高度化するお得意さまニーズに対応するため、L S（Logistic Sales：主に保険薬局を専門に担当する営業担当者）を本格導入するなど構造改革を実践し、強い物流機能の確立とお得意さまに提供するサービスの最適化に取り組んでおります。

売上高につきましては、市場が伸長したこともあり順調に推移いたしました。利益につきましては、適正な利益の確保に向けた取組みを強化したことにより一定の改善はみられたものの、依然として厳しい状況となりました。

この結果、売上高は4,399億69百万円（前年同期比3.7%増）、営業損失は23億3百万円（前年同期は44億15百万円の営業損失）となりました。なお、現時点における販売価格の未決定先につきましては、合理的見積価額としております。

（医薬品製造事業）

主力製品である糖尿病食後過血糖改善剤「セイブル錠」の売上高は、4億36百万円増の45億63百万円（前年同期比10.6%増）となりました。一方、高尿酸血症・痛風治療薬「F Y X－051（一般名：トピロキソスタット）」の製造販売承認申請に伴うマイルストーン支払等により、販売費及び一般管理費は増加いたしました。

この結果、売上高は167億48百万円（前年同期比6.4%増）、営業利益は2億95百万円（前年同期比72.2%減）となりました。

（保険薬局事業）

管理業務の集約化や在庫管理の強化を実施し業務の効率化に努めてまいりましたが、6年制教育課程導入のため3年ぶりとなる新卒薬剤師の確保により、販売費及び一般管理費は増加いたしました。

この結果、売上高は188億64百万円（前年同期比1.7%増）、営業利益は5億56百万円（前年同期比46.2%減）となりました。

（医療関連サービス等事業）

主に、中国地方で介護事業を営むサンキ・ウエルビィ㈱において、グループホームや小規模多機能センターで利用者が増加いたしました。また、さらなる地域密着サービスの強化に向けて、介護従事者の確保や新規開設に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は59億43百万円（前年同期比10.0%増）、営業利益は82百万円（前年同期比62.2%減）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ76億9百万円減少し、9,644億67百万円となりました。主な要因は、以下のとおりであります。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ58億73百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が56億35百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ17億36百万円減少いたしました。これは主に岡山物流センターの新設（平成24年11月完成予定）やBCP（事業継続計画）対策により有形固定資産が増加したものの、保有株式の株価下落等により投資その他の資産が15億8百万円減少したことによるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ60億98百万円減少し、6,762億19百万円となりました。これは主に法人税等の支払により未払法人税等が53億89百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ15億11百万円減少し、2,882億48百万円となりました。これは主に四半期純利益を16億36百万円計上したものの、剰余金の配当を22億53百万円支払ったこと及び保有株式の株価下落によりその他有価証券評価差額金が5億68百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年7月9日に「希望退職者募集に関するお知らせ」にて発表したとおり、当社及び当社物流子会社2社において、平成24年9月30日を退職日とする希望退職者の募集を行います。これに伴う業績見通しの影響につきましては、特別一時金の支給等に伴う特別損失の計上が見込まれますが、現時点においては応募者が未確定であるため、平成24年5月9日発表の平成25年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想については、現時点で変更していません。確定次第速やかにお知らせいたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成24年 6 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	119,389	122,038
受取手形及び売掛金	448,739	443,103
有価証券	5,791	11,802
商品及び製品	122,203	119,212
仕掛品	4,785	4,499
原材料及び貯蔵品	1,899	1,889
その他	37,655	31,861
貸倒引当金	△3,084	△2,902
流動資産合計	737,379	731,506
固定資産		
有形固定資産	106,713	107,166
無形固定資産		
のれん	955	790
その他	26,246	25,730
無形固定資産合計	27,201	26,520
投資その他の資産	100,782	99,273
固定資産合計	234,696	232,960
資産合計	972,076	964,467
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	635,153	635,300
短期借入金	587	539
未払法人税等	6,536	1,147
返品調整引当金	431	418
賞与引当金	7,746	4,340
その他	13,422	16,461
流動負債合計	663,878	658,207
固定負債		
長期借入金	462	411
退職給付引当金	4,401	4,345
役員退職慰労引当金	599	505
その他	12,974	12,749
固定負債合計	18,438	18,011
負債合計	682,317	676,219

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,546	13,546
資本剰余金	38,897	38,897
利益剰余金	248,446	247,764
自己株式	△12,064	△12,065
株主資本合計	288,825	288,142
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,684	6,115
土地再評価差額金	△6,001	△6,001
為替換算調整勘定	△1	△271
その他の包括利益累計額合計	681	△157
少数株主持分	252	262
純資産合計	289,759	288,248
負債純資産合計	972,076	964,467

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第 1 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)
売上高	445,612	462,028
売上原価	407,785	422,086
売上総利益	37,827	39,941
返品調整引当金戻入額	448	431
返品調整引当金繰入額	394	418
差引売上総利益	37,881	39,955
販売費及び一般管理費	39,725	41,319
営業損失 (△)	△1,843	△1,364
営業外収益		
受取利息	217	213
受取配当金	421	591
仕入割引	1,696	1,896
受入情報収入	1,179	1,243
その他	596	547
営業外収益合計	4,111	4,492
営業外費用		
支払利息	15	6
不動産賃貸費用	56	52
その他	33	21
営業外費用合計	105	80
経常利益	2,163	3,047
特別利益		
投資有価証券売却益	34	—
罹災商品補償額	289	—
保険解約返戻金	208	—
補助金収入	2	7
その他	96	1
特別利益合計	631	9
特別損失		
固定資産除売却損	51	42
投資有価証券評価損	38	31
災害損失	59	—
その他	34	8
特別損失合計	183	82
税金等調整前四半期純利益	2,610	2,974
法人税等	1,303	1,333
少数株主損益調整前四半期純利益	1,307	1,640
少数株主利益	7	3
四半期純利益	1,300	1,636

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,307	1,640
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	191	△568
為替換算調整勘定	1	6
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△275
その他の包括利益合計	192	△837
四半期包括利益	1,499	803
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,492	797
少数株主に係る四半期包括利益	7	5

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	医薬品 卸売事業	医薬品 製造事業	保険薬局 事業	医療関連 サービス等 事業	
売上高					
外部顧客への売上高	417,715	5,076	18,557	4,262	445,612
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,759	10,671	0	1,138	18,570
計	424,474	15,748	18,558	5,401	464,182
セグメント利益又は損失(△)	△4,415	1,061	1,034	218	△2,101

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△2,101
セグメント間取引消去	257
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△1,843

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	医薬品 卸売事業	医薬品 製造事業	保険薬局 事業	医療関連 サービス等 事業	
売上高					
外部顧客への売上高	432,365	6,243	18,863	4,555	462,028
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,603	10,505	0	1,388	19,497
計	439,969	16,748	18,864	5,943	481,526
セグメント利益又は損失(△)	△2,303	295	556	82	△1,369

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△1,369
セグメント間取引消去	5
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△1,364

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

当社及び一部の連結子会社は、平成24年7月9日開催の取締役会において、次のとおり希望退職者の募集を行うことを決議いたしました。

1. 希望退職者募集の理由

医薬品卸売業界を取り巻く経営環境は、高齢化の進展や疾病構造の変化、医療保険財政の逼迫などを背景に大きく変化しており、医療機関や保険薬局のニーズが多様化・高度化するなか、迅速かつ的確な対応が求められております。

当社グループは「医療と健康になくてはならない存在」を目指すなか、適正な利益を確保し、競争力を高め、多様なニーズに応えるため、あらゆる構造改革が必要であると考えております。

このようななか、喫緊の課題は「コスト構造改革」であると考え、希望退職者の募集を行うことを決議いたしました。

2. 希望退職者募集の概要

- ① 募集人員 : 当社及び当社子会社2社(株)スズケンロジコム、秋山物流サービス(株)で500名程度
- ② 募集対象者: 平成24年9月30日時点で勤続満3年以上の正社員
- ③ 募集期間 : 平成24年8月17日から平成24年8月31日まで
- ④ 退職日 : 平成24年9月30日
- ⑤ 優遇措置 : 所定の退職金規程に基づく支給に加え特別一時金を加算して支給するとともに、希望者には再就職支援を行います。

3. 業績に与える影響

平成25年3月期の業績に与える影響につきましては、特別一時金の支給等に伴う特別損失の計上が見込まれますが、現時点において応募者が未確定であるため、損益に与える影響は未定であります。